

# スポーツ実施を阻害する課題解決のための実証実験 採択団体一覧（1/2）

代表団体	構成団体	ターゲット（本事業で取り組むスポーツ実施の阻害要因（仮説））	事業概要	参考URL
国立大学法人 北海道教育大学 (岩見沢校)	・ <u>一般社団法人SLDI (Sport Life Design Iwamizawa)</u>	①子供 (積雪寒冷地で、冬期間に運動をする機会が少なく、近年、体力・運動能力の偏りの大きさが指摘されている)	冬季に、空き倉庫棟を活用した活動の拠点づくり、及びウインタースポーツ教室を実施し、楽しみながら多様な動きを身に付けるためのプログラムの提供などを実施。	
公益財団法人 笹川スポーツ財団	・NPO法人スポーツコミュニケーションかくだ ・角田市教育委員会 ・スポーツネットワークかくだ	①子供 (日常の遊びにおいて身体を動かす機会が減少し、運動をしない子、苦手な子が増え、小学校以前の幼児期に二極化が見られる)	市内の幼稚園、保育所、認定こども園等におけるからだを動かすことや遊びを提供する講習会・出前講座（「かくだ版アクティブチャイルドプログラム」）の開催、乳幼児健診での普及啓発などを実施。	
NPO法人ただみ コミュニティークラブ	・株式会社クレメンティア ・エヴリー合同会社 ・公益財団法人福島県体育協会 ・認定NPO法人郡山ペップ子育てネットワーク ・株式会社ルネサンス	①子供、②女性 (東日本大震災やコロナ感染症対策の影響により、地域の子供が自由に遊べる場所が制限され、友達と楽しく遊び身体を動かす機会が激減。同時に保護者である子育て世代にも同様の問題が発生。)	新しい生活様式に合わせた運動あそび実践者「ブレイリーダー」の育成、親子で参加できる運動あそび実践プログラム、及び運動あそび実践応援チャンネル（web配信）の提供などを実施。また、参加者の運動実施状況をICT技術を使って可視化し、継続的な行動変容を促す。	
株式会社 茨城県民球団	・株式会社ルネサンス ・株式会社茨城プランネット福祉センター	①ビジネスパーソン（障がい者） (自発的行動の困難性と社会参画へのハードル、障がい者がスポーツを実施できる環境の不足と支援人材の不足が障がい者のスポーツ実施を妨げる大きな要因となっている)	障がい者に健康運動指導ができる運動プログラム講師の養成、障がい者が働く事業所で継続的に取り組める運動プログラムの提供とともに、家庭でできるオンラインレッスン導入や、スポーツイベントなどのコミュニティ活動の実施により、同居家族を巻き込みながら、スポーツ習慣化に繋げる。	
東商アソシエート 株式会社	・大日本印刷株式会社 ・イオンモール株式会社 ・公益財団法人日本ハンドボール協会 ・公益財団法人横浜市スポーツ協会	①ビジネスパーソン、②女性 (主なターゲットである30～40代の子育てファミリー層は、共通して「忙しさ」、「子育て」などが阻害要因となっている)	買い物ついでに、ショッピングモールでランニング、ハンドボールを気軽に体験できるコンテンツを提供し、「遊ぶ」「楽しむ」といった視点からスポーツ実施を促す。併せてスポーツ関連団体の指導により、「うまくできる体験→もっと上手になりたい」という意欲を高め、スポーツ実施定着を促進する。	・プレスリリース <a href="https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000006.000035468.html">https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000006.000035468.html</a> ・特設HP <a href="https://meetyoursport.jp/">https://meetyoursport.jp/</a>
一般社団法人 さいたまスポーツ コミッション	・さいたま市役所 ・ <u>一般社団法人CHIMERA Union</u>	②ビジネスパーソン（メイン）、①子供 (ビジネスパーソンにとって運動、スポーツをする「時間がとれない」、「きっかけが無い」、「気軽に活動できる場所が無い」ことがスポーツ実施を妨げる要因となっている一方で、コロナ感染症対策下において、子育て世代の男性の「家事・育児」に費やす時間が増加している)	子育て世代が親子で楽しめるようなアーバンスポーツを提供。アーバンスポーツに気軽に親しむことができるレンタルパーク事業や、トッププレーヤーによる実演や講習を受けられる体験教室を実施することにより、「自由で気軽に身近な体験場所・機会」を提供する。	<a href="https://saitamasc.jp/topics/saitama_parks.html">https://saitamasc.jp/topics/saitama_parks.html</a>  <a href="https://www.city.saitama.jp/004/006/008/p075923.html">https://www.city.saitama.jp/004/006/008/p075923.html</a>

※構成団体のうち下線を付した団体はSport in Lifeコンソーシアム加盟団体

# スポーツ実施を阻害する課題解決のための実証実験 採択団体一覧 (2/2)

代表団体	構成団体	ターゲット（本事業で取り組むスポーツ実施の阻害要因（仮説））	事業概要	参考URL
一般社団法人 飛騨シューレ	<ul style="list-style-type: none"> <li>飛騨市教育委員会事務局</li> <li>岐阜県立飛騨神岡高等学校</li> <li>早稲田大学スポーツ科学学術院運動器スポーツ医学研究室</li> <li>ヨネックス株式会社</li> <li>北都サービス神岡株式会社</li> <li>任意団体M A S K</li> </ul>	①子供 （家庭環境や過疎化による近隣体育施設不足に伴い、子供自身がスポーツ参加を希望しても、送迎や用具やウエア・シューズ購入にかかる金銭的理由のため、スポーツに取り組めないケースが増加。保護者にもスポーツは競技性が高く、厳しく辛いものという認識が強くあり、幼児期～小学生期の運動活動実施の重要性が十分に理解されていない。）	下校から直接スポーツ施設への送り➡補食➡学習支援➡スポーツ活動（子供が楽しいと感じられるような運動遊び）を包括的かつあらゆる個性の子供たちに提供する「インクルーシヴ・スポーツ学童」を推進。同時にペアレンティング（保護者教育）、グッドコーチングワークショップ（コーチ教育）などの開催を通じて、子どものスポーツ実施を支える大人側の意識改革を試みる。	<a href="https://hida-shule-sport-in-life.jimdofree.com/">https://hida-shule-sport-in-life.jimdofree.com/</a>
公益財団法人 滋賀レイクスターズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>大塚製薬株式会社ニュートラシューティカルズ事業部京都支店大津出張所</li> <li>大津市自治連合会</li> <li>公益財団法人大津市公園緑地協会</li> <li>全国健康保険協会滋賀支部</li> <li>株式会社滋賀レイクスターズ</li> <li>びわこ成蹊スポーツ大学</li> </ul>	①子供、②ビジネスパーソン、③女性 （子供たちが遊べる環境が限られていることに加え、多様な遊び方を教えてくれる人材が不足しており、運動が苦手な子どもも増えている。保護者は仕事や家事に多忙で、スポーツ教室参加費用の負担も大きく、運動の効用についても十分に理解されていない。）	学区内の自治会単位で、近隣の都市公園を利用して、子どもとその保護者を対象に、運動遊びプログラムを提供する。専門家に加え、地域のスポーツボランティアも指導者として活用し、指導マニュアル作成、講習会の開催を行う。親子で来場してもらうことで、同行する保護者に向けた啓蒙を行い、健康意識および運動実施意欲の増進を行い、スポーツ実施の定着を図る。	
吉本興業 株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般財団法人スポーツ能力発見協会</li> <li>学校法人近畿大学</li> <li>株式会社ワコールホールディングス</li> </ul>	①子供、②女性 （子供たちは、スポーツをする機会が少なく、得意なスポーツ、自分に合ったスポーツを見つけられない場合が多い。子供の母親世代は、仕事や育児で多忙なことに加え、スポーツへの苦手意識や周りの目を気にして、スポーツ実施に至らないことが多い。）	子供を対象にお笑い芸人やスポーツ選手とのふれあい・スポーツ体験イベントを実施し、スポーツ実施のきっかけづくりを行うとともに、スポーツ能力測定を実施し、得意なスポーツを発見してもらう。同イベント内で、保護者の女性を対象にスポーツ科学の視点を取り入れた「姿勢を美しくする」ワークショップを開催し、スポーツ実施意欲向上を図る。	<a href="https://laughmaga.yoshimoto.co.jp/archives/110906">https://laughmaga.yoshimoto.co.jp/archives/110906</a>
株式会社 ティップネス	<ul style="list-style-type: none"> <li>泉大津市</li> <li>株式会社センシング</li> <li>日本HP</li> <li>株式会社ドリーム・ジーピー</li> <li>東京学芸大学 吉田伊津美研究室</li> </ul>	①子供、②ビジネスパーソン、③女性 （子供が自由に遊べる場所や機会が限られ、運動能力低下や運動習慣減少がもたらされている。保護者であるビジネスパーソンや女性も、育児や仕事に多忙でスポーツ実施を面倒と感じる者が多い。）	オンライン型親子運動あそび教室を実施し、子どもが身体を動かして遊ぶ機会を提供するとともに、子どもと一緒に保護者が身体を動かす機会を提供する。加えて、運動遊びの実施結果を記録し、取組実績の高いものを表彰するなどして、継続した取組意欲の向上を図る。	
株式会社YMFG ZONE プラニング	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社レノファ山口</li> <li>株式会社データ・キュービック</li> <li>株式会社Fusic</li> <li>株式会社山口銀行</li> </ul>	①女性 （育児期は非育児期と比較してスポーツ実施頻度が低く、子どもを通じてスポーツに関わる機会はあるもののスポーツ実施に至らない）	サッカークラブに所属する子どもの保護者（女性）を対象にして、サッカークラブの選手と連携したイベント（体操などのトレーニングの紹介など）開催、及び定着のための親子で一緒にできるトレーニング動画の配信などを行い、スポーツへの参加及び定着を図る。	

※構成団体のうち下線を付した団体はSport in Lifeコンソーシアム加盟団体

# スポーツ実施を阻害する課題解決のための実証実験 各採択団体の実施地域

